



## 前提条件とガイドライン

- [HyperFlex ソフトウェアのアップグレードの前提条件](#) (1 ページ)
- [アップグレードの推奨事項](#) (3 ページ)

# HyperFlex ソフトウェアのアップグレードの前提条件

アップグレードプロセスを開始する前に、次のタスクを実行する必要があります。



**重要** VMware アップデート マネージャ (VUM) または、VMware ライフサイクル マネージャ (vLCM) を使用して HyperFlex ノード上で ESXi をアップグレードすることはサポートされていません。これらのアップグレードメソッドを使用することは、Cisco カスタムドライバの削除とクラスタ停止を引き起こす場合があります。VMware のセキュリティ パッチまたは、ESXCLI コマンドと一緒にオフライン zip バンドルの手動のインストールを含む ESXi アップグレードは、Cisco Intersight または、HyperFlex 接続の使用を推奨します。

- 各 HyperFlex データストアおよび HyperFlex クラスタ内の各 ESXi ホストのローカル データストアで Storage I/O Control (SIOC) が完全に無効になっていることを確認します。これは、vCenter Web Client で確認できます。

**Datastores -> <datastore name> -> Configure -> General -> Datastore Capabilities -> Storage I/O Control -> Verify > Status** と **Statistics Collection** 両方は、**Disabled** に設定されています。



(注) 詳細および SIOC を無効にする手順については、VMware のドキュメントサイトを参照してください。

- HXDP リリース 5.0 は、ESXi バージョン 6.5 U3 以降のみをサポートします。現在の ESXi バージョンが 6.5 U3 より前の場合は、HXDP と ESXi をターゲット レベル 6.5 U3 以降に組み合わせてアップグレードする必要があります。M6 ノードには、少なくとも ESXi 6.7 U3 以降のサポート対象バージョンが必要です。

- [HX データ プラットフォーム \(HXDP\) ソフトウェア推奨リリース バージョン : Cisco HyperFlex HX シリーズ システムの Cisco HyperFlex アップグレード ガイドライン](#)を見直します。
- Cisco HXDP リリース 5.0(2a)以降、すべての機能と構成の変更には、有効な Cisco HyperFlex ソフトウェア ライセンスが必要です。評価の終了時またはライセンス 準拠日の後の猶予期間に期限切れ、または不十分なライセンスを持つ HX Connect ユーザーには、ライセンス 準拠の必要性を警告する目立つカウントダウン バナーが表示され、ライセンスの期限切れが解消されるまで更新ページへのリンクが提供されます。

ライセンスがその有効期限日と猶予期間のカウントダウンの両方の期限日を過ぎた場合、現在の構成は限られた情報で動作します。ライセンスを更新すると、ユーザーはすべての機能を再開し、構成を変更できます。バナーの詳細と例については、『Cisco HyperFlex Systems Ordering and Licensing Guide』の「[License Compliance and Feature Functionality](#)」セクションを参照してください。
- vCenter のバージョン チェック : vCenter がアップグレードされる ESXi バージョンの最小要件を満たしていることを確認します。vCenter と ESXi の間の互換性を確保するには、[VMware 製品の相互運用性マトリックス](#)を参照してください。
- vMotion 互換性のために、すべての VM ネットワーク ポート グループがクラスタ内のすべてのノードに存在することを確認します。
- 計画されたファブリック フェールオーバー中の中断のない接続を確保するために、管理およびストレージデータの VLAN がトップオブラック ネットワーク スイッチで設定されていることを確認します。
- 環境内でジャンボフレームを使用している場合は、ジャンボフレームが、トップオブラック スイッチ上の vMotion およびデータ ネットワークで有効になっていることを確認します。
- アップグレード中に ESXi ホストがロックダウンモードになっていないことと SSH が有効になっていることを確認します。アップグレードの完了後にロックダウンモードの再度有効化と SSH の無効化ができます。
- ブレード パッケージとラック パッケージのバージョンは、ホスト ファームウェア パッケージ : M6 ノードの **HyperFlex-m5-con** および **HyperFlex-m6-con** に表示されません。
- ストレージコントローラ仮想マシン (SCVM) の VM 互換性バージョンまたはハードウェアバージョンのアップグレードはサポートされていないため、実行しないでください。このアクションは SCVM に悪影響を及ぼすため、実行する場合は SCVM の再構築が必要になります。
- HX CSI を使用している場合は、TAC にお問い合わせください。

## アップグレードの推奨事項

サポートされたリリースのアップグレードについては、『[HXデータプラットフォームソフトウェア推奨リリースバージョン：Cisco HyperFlex HX シリーズシステム](#)』を参照してください。

サポートされなくなったリリースからアップグレードする場合は、『[Cisco HyperFlex Systems Upgrade Guide for Unsupported Cisco HX Releases](#)』を参照してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。